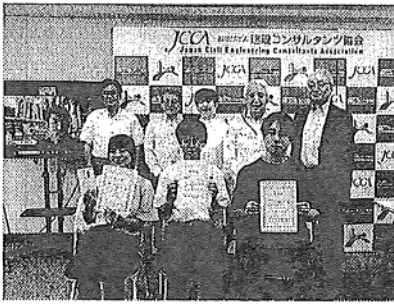


# 土木遺産な旅ノートコンテスト 最優秀に牟田さん輝く

建コン協九州



建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は29日、福岡市の同支部会議室で、土木を学ぶ学生を対象にした「土木遺産な旅2024・旅ノートコンテスト」を開いた。写真。応募者10人のうち、1次審査を通過した九大土木工学科の学生4人がプレゼンテーションした。審査の結果、最優秀賞に牟田智哉さんの「『縁の下の力持ち』な土木技術者」を選んだ。九州地域づくり協会が後援した。

旅ノートの取り組みは、23年12月の夢アイデア交流会で特別賞を受賞したアイデアを基に今回初めて開催した。学生らは、同支部が5月に開催した土木遺産を巡るイベントに参加し、熊本県の通潤橋（つうじゆんきょう）、新阿蘇大橋、立野ダムを見学して土木遺産の背景や役割・魅力を学んだ。旅を通して学んだことなどをまとめた報告書（旅ノート）を作成し、コンテストに臨んだ。

土木技術者の使命や努力に着目して旅ノートをまとめた牟田智哉さんが最優秀賞に輝いた。牟田さんは「土木構造物の歴史や使命、建設の苦勞などを知る重要性を学べた」とコメントした。

審査委員長の田中支部長は「発表者それぞれが旅ノートを通して、持続可能性や脱炭素社会の構築、土木技術者の確保、景観や環境との調和と社会が抱える問題を深掘りし

てくれたことに感銘を受けた。これからも課題解決に向けてまい進していきたい」と講評した。

コンテスト終了後、取材に応じた夢アイデアの提案者は「各地の土木遺産を通じた、皆さんの旅ノートを見たい」と思い提案した。今回、同じ旅でも興味を持つ点が異なることでそれぞれ個性的な発表が見られ、うれしく思う」と述べた。

審査員特別賞と優秀賞の発表者は次のとおり（敬称略）。

＜審査員特別賞＞

▽旅ノートで考える土木への思い  
いし木村美涼

＜優秀賞＞

▽過去から未来へ繋ぐ災害レジリエンス  
▽高田陽平  
▽私が土木遺産から学び、感じたこと  
▽可児拓也



九州支社

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前  
3-9-1 大賀博多駅前ビル  
電話 092-471-6118  
FAX 092-471-6119

kyushu  
@kensetsunews.com